# 精神保健医療の 在宅促進を考える会

第7回 精考会 岡山支部

~共創で拓く、地域と事業の新しい関係~

サービスを"支援"から "選ばれる価値"へと 変える方法

小さくても 地域に根づく ビジネスモデルとは?

自社でも活かせる "共感を軸にした経営" のヒント

#### 開催概要

2025年10月31日(金) 日時

13:30~17:30 (懇親会19:00~)

見学/講演会 会場

かんかくもーる

〒701-0221 岡山市南区藤田2001

岡山駅東口よりバスで約30分 

https://kankaku-mall.com/kankaku-mall/

#### 懇親会

決まり次第、参加希望の方に ご案内いたします

18名 定員

無料 会費

※懇親会費は別途実費(5,000円程度)

## プログラム

#### 第1部

13:30 開会·挨拶

13:40 【現地体験】 かんかくもーる 見学ツアー





アクティブルーム

14:40【登壇①】大西直美氏 【登壇②】 糸山智栄氏

16:00 意見交換

16:40 全体共有・まとめ

17:30 閉会

第2部

19:00~ 懇親会

## お申し込み

FAXまたはQRコードからお申し込みください。

(施設紹介) 回数值

FAX送付先 086-250-2966



参加される項目に○をご記入ください	(講演会) (懇親会)
会社・団体名	
お名前	
電話番号	 
メールアドレス	

「福祉=支援」という常識を越え、感性や共創を起点に、地域で「価値ある場」を創造する二人の実践者が登壇。

共通のキーワードは、以下の3つ。

① 人が集まる場 ② 支援に依存しない事業構築 ③ 社会性と利益の両立

現場の熱とリアルな経営戦略から、「うちの会社で何ができるか?」をぜひ持ち帰ってみてください。 障害のある人が地域で生きることは、今もなお困難を伴っています。

社会課題を「事業」として再構築する実践者を迎え、新たな問いを掘り下げましょう!

- 「障害を持つ人が地域で生きる」とはどういうことか?
- 企業はどのようにバイアスを乗り越え、社会的価値を提供できるか?
- 地域との関係を築きながら、どのように事業を維持・発展させるか?



## 登壇者

## 大西 直美 氏

(一般社団法人Ai-care)

岡山市内で、全国初となる「スヌーズレン」常設の民間施設を運営しています。多感覚環境を用いたサービスを通じて、様々な背景を持つ人が集い、言葉を超えたコミュニケーションが生まれる地域交流の場づくりを行っています。

#### 登壇内容

**誰もが居場所になる場づくり** ~かんかくも一るの挑戦~

#### Mission / 社会性と事業性の両立

ヨーロッパ発、五感にやさしく作用する空間「スヌーズレン」。障害のある人とない人の非言語コミュニケーションを叶えるこの癒しの空間を、より多くの人に知ってほしい。そんな思いから始めた普及活動を通じて見えてきたのは「障害を持つ人たちが楽しめる場所がない」という地域社会の問題でした。そして、課題解決の糸口として立ち上げた施設「かんかくもーる」。サービス内容を知ってもらうことから始まり、この事業を維持継続させるためにどのような試行錯誤を重ねてきたのか。現状と今後の展望などについてもお話しさせていただきます。

## 糸山 智栄氏

(株式会社えくぼ/訪問介護事業 代表取締役)

法人では訪問介護事業を中心に展開し、社会活動として学童保育や農業福祉連携にも取り組んでいます。 地域の中で「医療・福祉・介護」のつながりを大切にし、 さらにフードバンク岡山の活動を通じて生活支援や地 域の居場所づくりを広げています。

#### 登壇内容

"訪問介護"に選ばれる理由 ~現場から考える収益と価値~

#### Mission / 地域の連携をどう進めるか

特に、65歳を迎えると介護保険での支援が優先される 一方で、精神科の症状が再燃し生活が崩れてしまう方 々の現実があります。

医療拒否のある方を含め、福祉・介護・医療がどのように 連携して支援を進められるのか。

制度の内と外での 試行錯誤について、 事例を交えながら ご報告させて いただきます。





https://seiko-kai.com

